

# 宮崎県住生活基本計画



令和4年3月  
宮崎県



# 目次

第1章	はじめに	1
1	計画策定の趣旨	1
2	計画の性格と役割	2
3	計画期間	2
第2章	住生活の安定向上に関する施策を取り巻く課題	3
1	背景	3
1.1	人口と世帯数の減少	3
1.2	少子高齢化	5
1.3	新たな住宅セーフティネット制度への対応	6
1.4	災害に対する不安の高まり	6
1.5	脱炭素社会の実現	7
1.6	多様な住まい方と新技術活用への対応	7
2	本県の住宅事情	8
2.1	社会環境の変化	8
2.2	居住者・コミュニティの現状	15
2.3	住宅ストック・産業の現状	27
3	課題	41
3.1	居住ニーズの複雑化	41
3.2	災害への備え	41
3.3	新たな住まい方への対応	41
3.4	住宅確保要配慮者に対する住宅の確保	41
3.5	良質なストックの形成と空き家対策	42
3.6	県内産業・地域における対応	42
3.7	推進体制の充実に向けた取組	42
第3章	計画の基本理念と住生活の安定向上に関する施策の目標	43
1	計画の基本理念	43
2	住生活の安定向上に関する施策の基本的な方針	43
2.1	住宅の位置付けと施策の意義	43
2.2	豊かな住生活を実現するための条件	43
3	住宅政策の視点と目標	44
3.1	住生活の安定向上に関する施策の視点と目標	44
3.2	本計画における目標	46
第4章	目標達成のための基本的な施策の展開	48
1	社会環境の変化からの視点	49
1.1	目標1 多様な居住ニーズをかなえる環境の実現	49
1.2	目標2 災害への備え	50

2	居住者・コミュニティからの視点	54
2.1	目標3 多様な世代が住みやすい住まい・まちづくり	54
2.2	目標4 住宅セーフティネットの充実	63
3	住宅ストック・産業からの視点	71
3.1	目標5 適正な住宅管理と良質なストックの形成	71
3.2	目標6 地域住宅産業の成長支援	84
4	施策の総合的かつ計画的な推進	87
4.1	目標7 連携・協働による推進	87
第5章	公営住宅の供給目標量の設定	94
1	公営住宅の供給目標量の設定の考え方	94
1.1	供給戸数の考え方	94
1.2	公的な支援により居住の安定の確保を図るべき世帯数の考え方	94
1.3	供給する住宅の質の確保	94
2	公営住宅の供給目標量	95
第6章	計画の推進に向けた役割分担と推進体制	96
1	計画の推進に向けた役割分担	96
1.1	県	96
1.2	市町村	96
1.3	県民	96
1.4	住宅関連事業者	96
1.5	NPO等	97
2	推進体制	98
2.1	官民連携による取組の推進	98
2.2	関係行政分野との連携	98
2.3	国・市町村及び関係機関との協力体制	98
2.4	統計調査の充実	98
第7章	参考資料	99
	参考資料1 本県におけるこれまでの住宅施策の取組	100
	参考資料2 成果指標の考え方	109
	参考資料3 各種水準（住生活基本計画(全国計画)より抜粋)	118
	宮崎県住宅政策懇談会の審議経過	124
	宮崎県住宅政策懇談会委員名簿	124